

# 第5期 **きらっとあさひプラン**ってなあに？

旭区**地域福祉保健計画**の愛称です。  
身近なまちに知り合いが増え、  
**安心して自分らしく暮らせるまち**にするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが  
地域の皆さんとともに取り組みます。



## 基本理念

地域で支えあい **安心して自分らしく暮らせるまち** 旭区をつくろう

### 1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

### 2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

### 3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

## 地区別 計画

地区ごとの課題  
に対する取組

## 区全域 計画

区全域に共通する課題  
に対する取組  
地区別計画を  
支える取組

きらっとあさひプランを  
みんなで話し合い、確認しながら  
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター  
あさひくん

一つひとつの取組が  
「安心して自分らしく暮らせるまち」  
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン  
マスコットキャラクター  
あさちゃん  
きらっとあさひプランの  
詳細はこちら



# 二俣川地区

二俣川一丁目  
二俣川二丁目※  
本村町  
中沢一丁目※

※ 他の地区にもまたがっています。

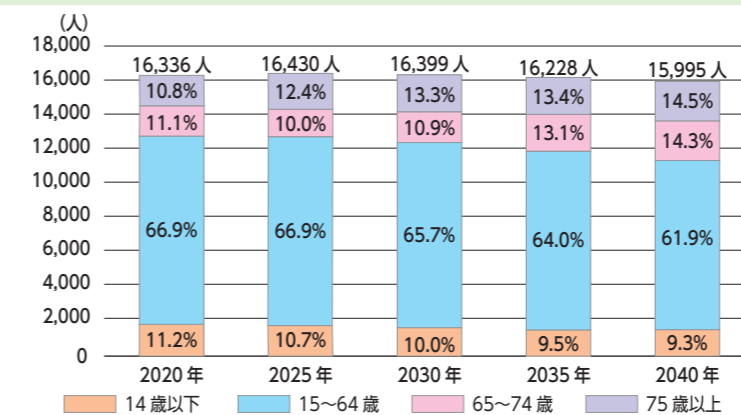


## あなたの まち は、どんなまち？

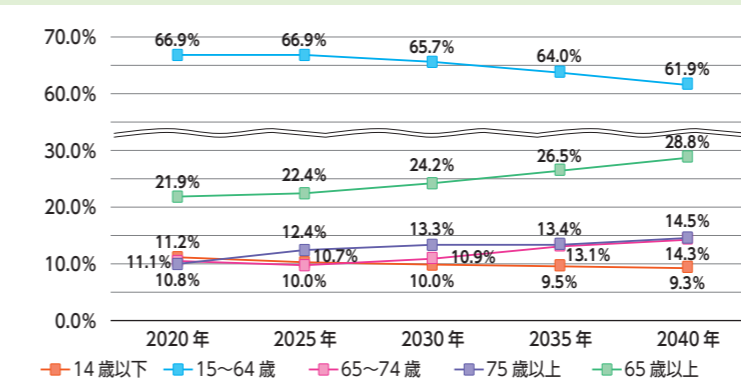
**二俣川地区**は、二俣川駅周辺の相鉄本線と厚木街道を軸とする地区で、二俣川駅、保土ヶ谷バイパス本村 IC があり、交通の要衝です。二俣川駅南口市街地再開発事業により大型商業施設が完成し、賑わいと人の流れが大きく変わりました。二俣川駅北口には、区や県の公共施設が多く立地するとともに、駅を中心に商業施設が集積しています。

## 今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ  
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約16,400人で、  
今後はよこばいで推移すると見込まれます。  
2030年には、14歳以下は10%、  
65歳以上は24.2%となる見込み  
です。

# みんなで住みやすい環境基盤を整え、地域の価値を維持・向上していこう！

住みやすい環境基盤を整えていくことが、自分たちの住むまちの価値を向上することになり、その価値を次の世代につなげていきたいことを標語とした。

## 二俣川ビジョン

みんなで住みやすい環境基盤を整え、地域の価値を維持・向上していこう！



A

安心で安全な環境を整える

B

楽しく生活できる環境を整える

C

子どもからお年寄りまで  
過ごしやすい環境を整える

D

3本柱を支える地域役員の活動環境を整える



## これまでの取組

第4期計画は、「相談しやすいまちづくり」を標語として、地域のコミュニティの維持・向上のため、諸活動を進めてきた。コロナ禍・二俣川小学校の改築工事など活動に制限を受ける条件の中、活動の継続が地域に住みやすい環境を整えることをあらためて確認した。反面大きな課題として、自治会・町内会加入率の低下、役員のなり手不足、現役員の高齢化とあらたな課題に直面した第4期計画でもあった。

## 地域活動・行事・取組などの紹介

安心で安全な環境を整えるための防災・防犯活動の実施。集える場の提供を目的とした夏祭り・健民祭・餅つき大会・地域カフェ・各種団体の活動等の実施。だれもが過ごしやすい環境を整えるための高齢者、障害者、子育て支援活動等を実施してきた。

## 目標と主な取組

私たちのホームページをぜひご覧ください。



### 目標 A 安心で安全な環境を整える

- ▶ 防災活動の展開：防災活動の基本である自助⇒共助⇒公助の仕組みに沿って、自助活動の啓蒙、隣近所の助け合い活動の促進⇒地域防災拠点の充実を展開していく。
- ▶ 防犯活動の展開：小学校の登下校時の見守り活動の実施、防犯キャンペーンの実施、防犯を啓発するのぼり旗の配布等地域の防犯意識の向上を図っていく。
- ▶ 地域防災警備班、防犯指導員との緊密な連携

### 目標 B 楽しく生活できる環境を整える

- ▶ 楽しく生活できる環境を実現するため連合・社協の三大大行事である、夏祭り、健民祭、餅つき大会を継続して実施していく。
- ▶ あさひスポーツ祭への参加を通して地域レクリエーション活動を実施していく。
- ▶ 地域カフェ活動を通して地域のコミュニケーションの充実を図っていく。
- ▶ 老人会、友愛会等各種団体活動を通して、コミュニケーションの充実を図っていく。
- ▶ 生活環境基盤の基本となる、環境事業推進活動を支援する。

### 目標 C 子どもからお年寄りまで過ごしやすい環境を整える

- ▶ 民生委員・児童委員の活動を基本とした、高齢者、障害者、子育て支援活動を支援していく。
- ▶ 民生委員・児童委員の日頃の活動に加えて、子育て支援としてピヨピヨクラブ、ひなたぼっこ、子ども食堂、ジュニアボランティア活動等を支援していく。
- ▶ 青少年の育成活動を支援する。
- ▶ 中途障害者支援のひまわり会の活動を支援していく。
- ▶ ひとり暮らし高齢者支援のはなみずきの会の活動を支援していく。

### 目標 D 地域役員の活動環境を整える

- 第4期の課題として顕在化した、自治会・町内会加入率の低下、役員のなり手不足、現役員の高齢化の対策として、
- ▶ 地域活動を見える化して理解を深めてもらう施策を実施する。
  - ▶ 役員の負担軽減を目的としたDX（デジタル化による役員活動の見える化）を実施する。

## 推進体制

二俣川地区連合・社会福祉協議会の組織を基軸として、諸活動を展開している。

## メッセージ

地域活動の基本である、住みやすい環境基盤を行政とともに築き上げていくことが、地域の価値向上につながることを未来像として確認したい。